

雇用先アンケート集計

2022年9月

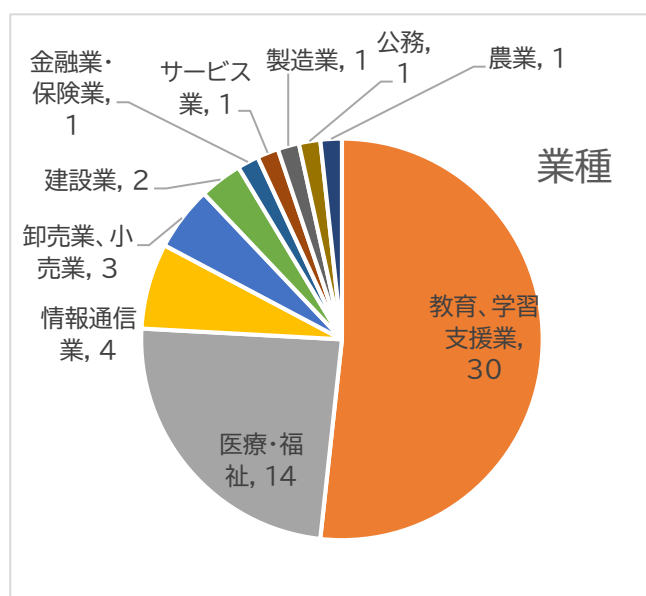
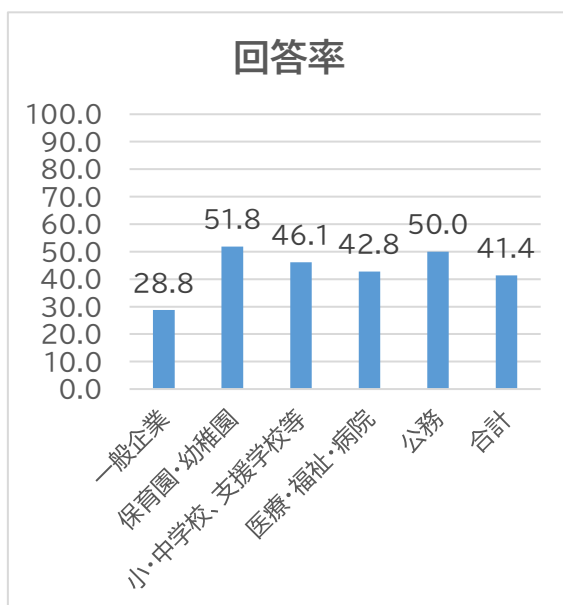
対象:2021年3月卒業生の就職先

重複雇用先を除いた、140社にアンケートを実施。

発送:2022年8月9日

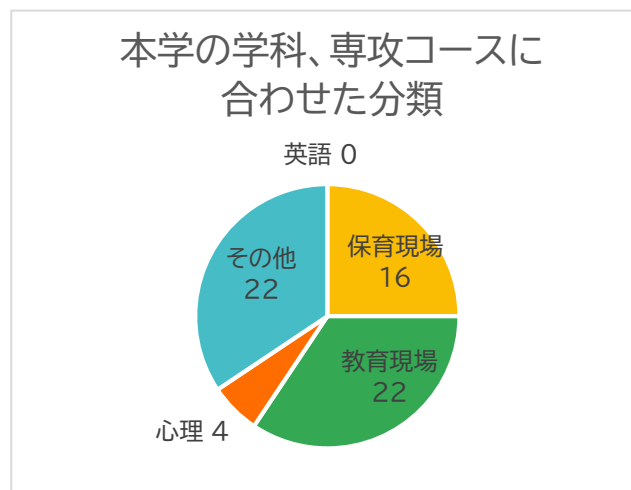
締切:2022年8月26日

	発送数	宛先不明	回答数	回答率
一般企業	45	0	13	28.8%
保育園・幼稚園	27	0	14	51.8%
小・中学校、支援学校等	52	0	24	46.1%
医療・福祉・病院	14	0	6	42.8%
公務	2	0	1	50.0%
計	140	0	58	41.4%



Q3.貴社・貴団体を以下から選択してください
(本学の学科、専攻コースに合わせた分類)

- 1.英語の専門性を活かす職場
- 2.保育現場(幼稚園・保育園・こども園等)
- 3.教育現場(小・中・高等学校、特別支援学校等)
- 4.心理(精神社会福祉)の専門性を活かす職場
5. 1~4 に該当しない職場

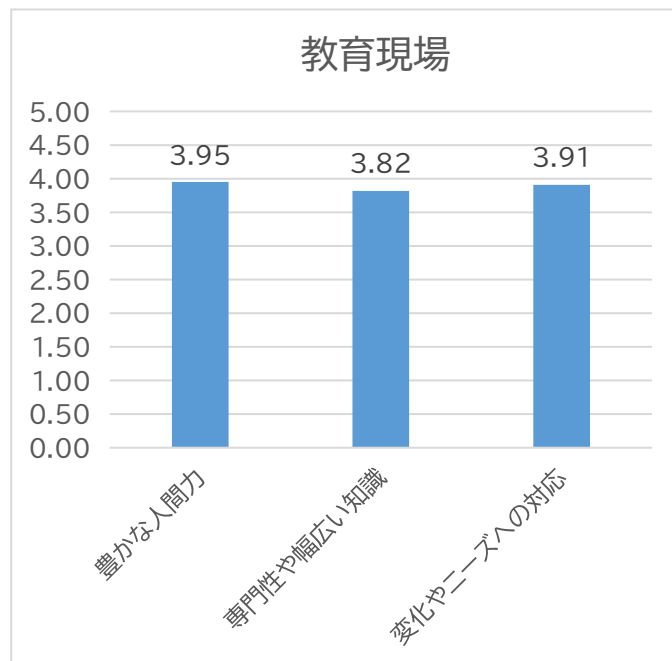
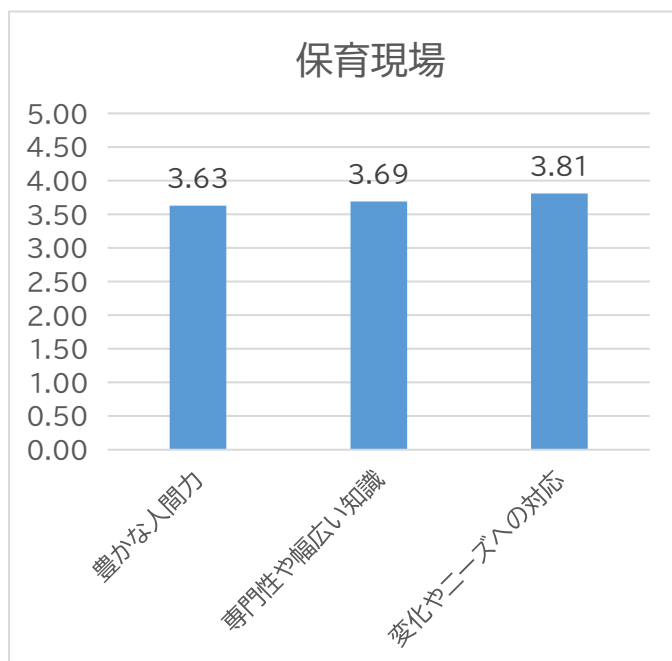
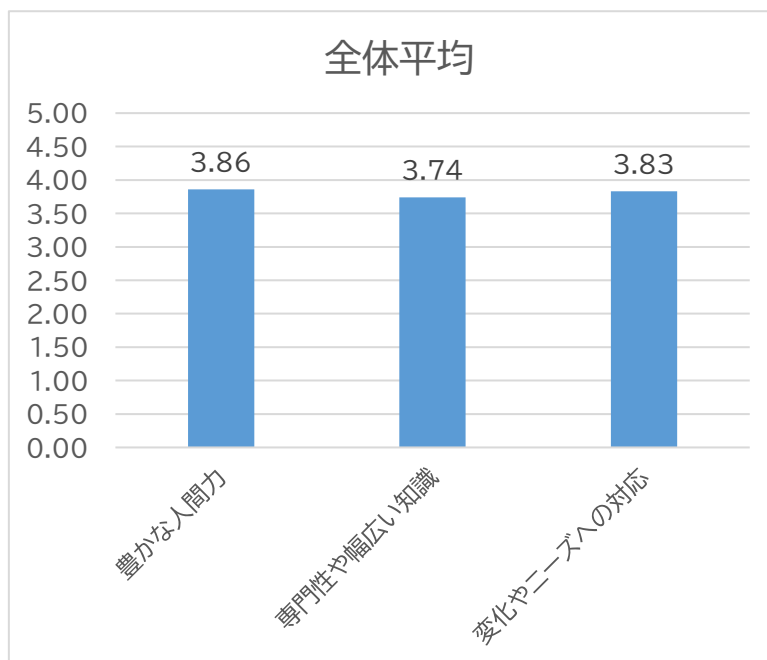


Q4 以降の質問の身につけるべき能力の点数

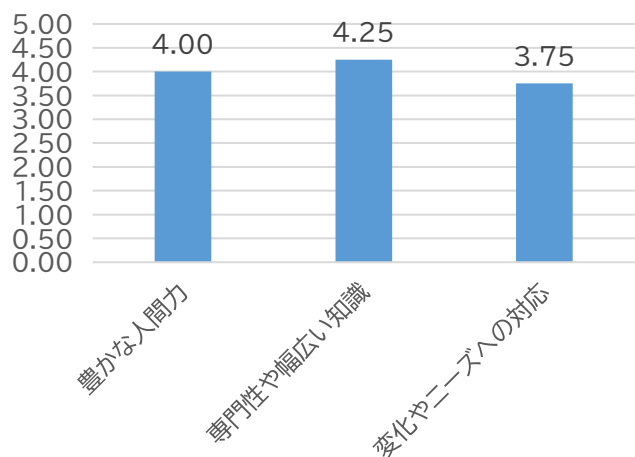
- 5 非常に当てはまる 4 当てはまる 3 どちらともいえない
 2 あまり当てはまらない 1 全くあてはまらない
 で回答を依頼している。

Q4.本学学生が卒業時に身につけるべき能力についての質問

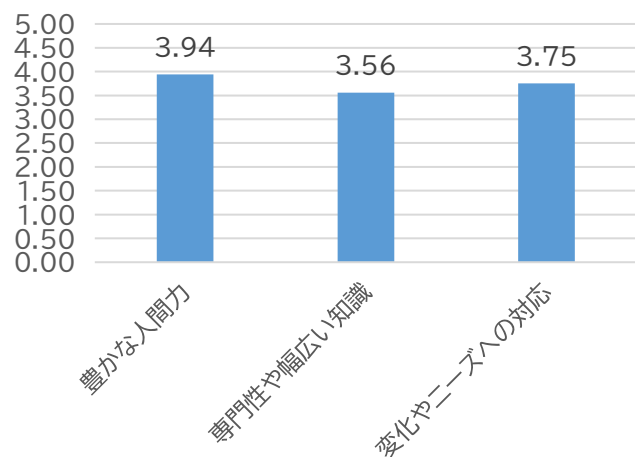
1	広い視野とバランスのとれた判断を可能にする豊かな人間力を備えている
2	大学で身につけた専門性や幅広い知識を職場で活かしている
3	社会の動向に関心を持ち、その変化やニーズに対応しようとしている



心理の専門性を活かす職場



その他の職場

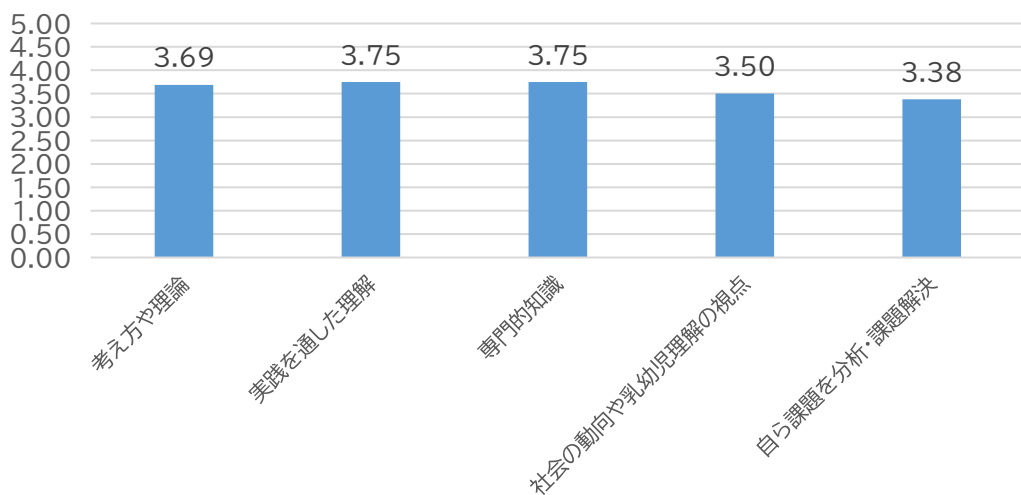


身につけるべき能力についての質問・・・英語の専門性を活かす職場	
1	英語の専門性(読む・書く・聞く・話す)が発揮されている
2	異文化の多様性を理解し、グローバルな視野で仕事をしている
3	IT 技術、情報リテラシーを仕事に活かしている
4	自分の考えや意見を他者に発言・発信できている
5	研究的な視点から自ら課題を分析し、課題解決をしようとしている

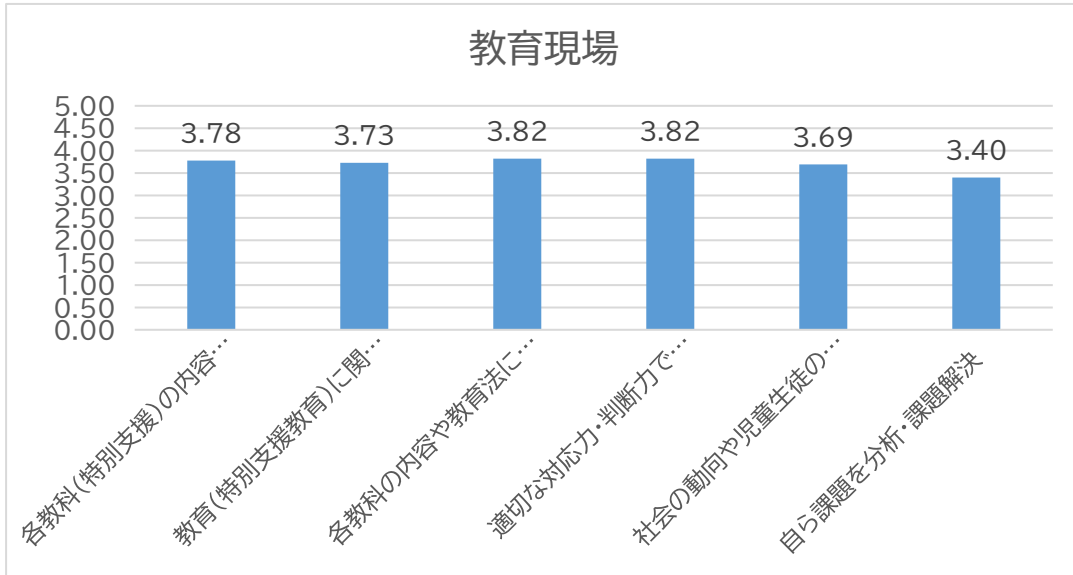
※ 該当なし

身につけるべき能力についての質問・・・保育現場(幼稚園・保育園・こども園等)	
1	保育・幼児教育の考え方や理論を活かしている
2	保育・幼児教育の様々な研究法や技法を実践を通して理解しようとしている
3	保育・幼児教育の専門的知識を保育に活かそうとしている
4	社会の動向や乳幼児理解の視点に立って実践しようとしている
5	研究的な視点から自ら課題を分析し、課題解決をしようとしている

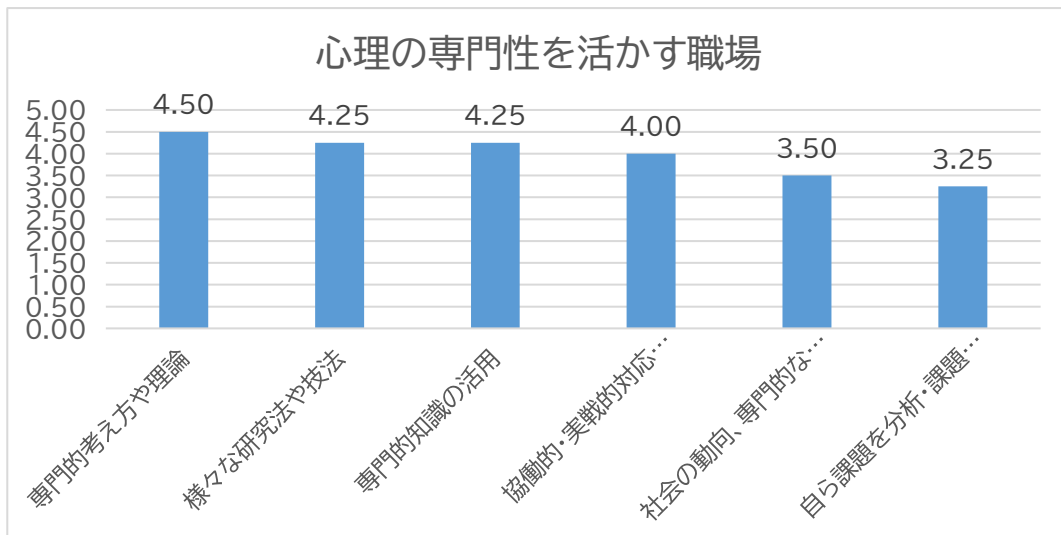
保育現場



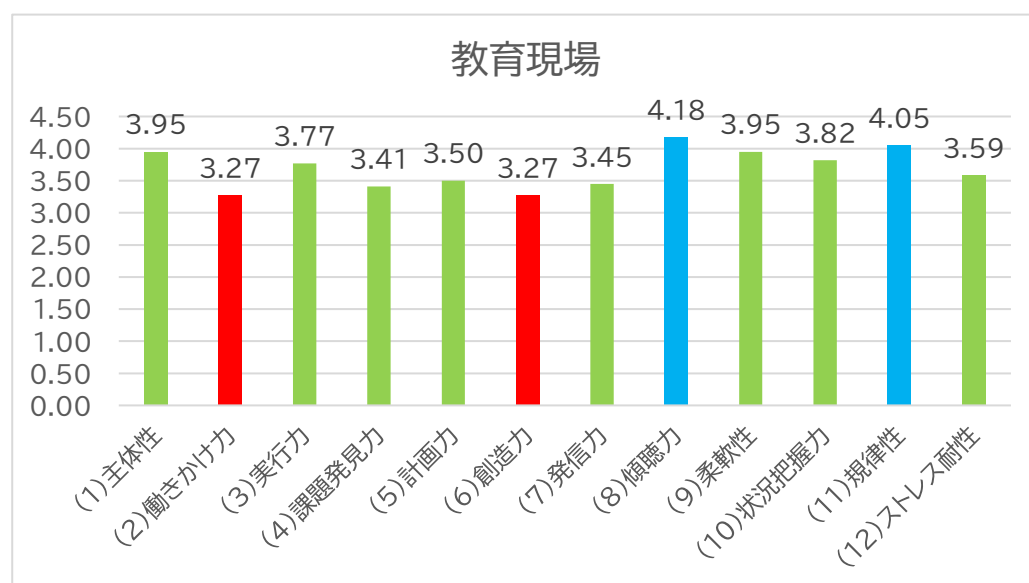
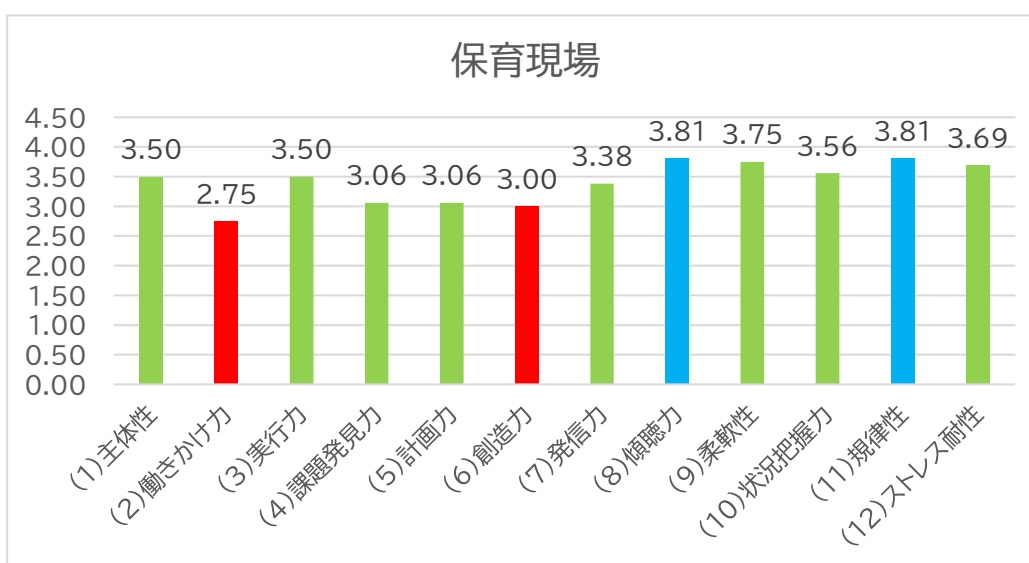
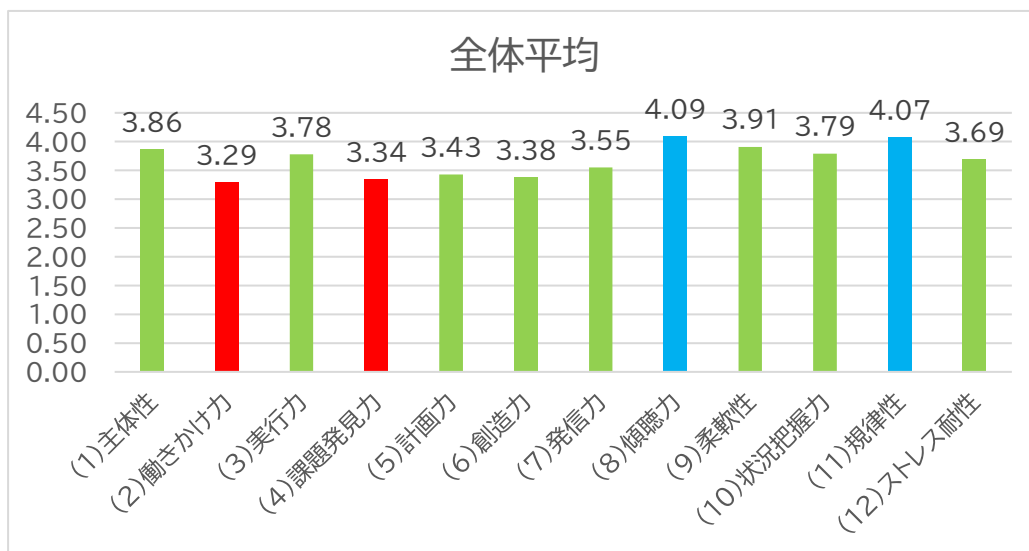
身につけるべき能力についての質問・・・教育現場(小・中・高等学校・特別支援学校等)	
1	各教科(特別支援)の内容や教育方法を理解して授業実践を行っている
2	教育(特別支援教育)に関する研究や理論等を実践に活かそうとしている
3	各教科の内容や教育法についての専門知識が実践に活かされている
4	学校における様々な活動の中で、適切な対応力・判断力で問題解決を行っている
5	社会の動向や児童生徒の視点に立って実践しようとしている
6	研究的な視点から自ら課題を分析し、課題解決をしようとしている

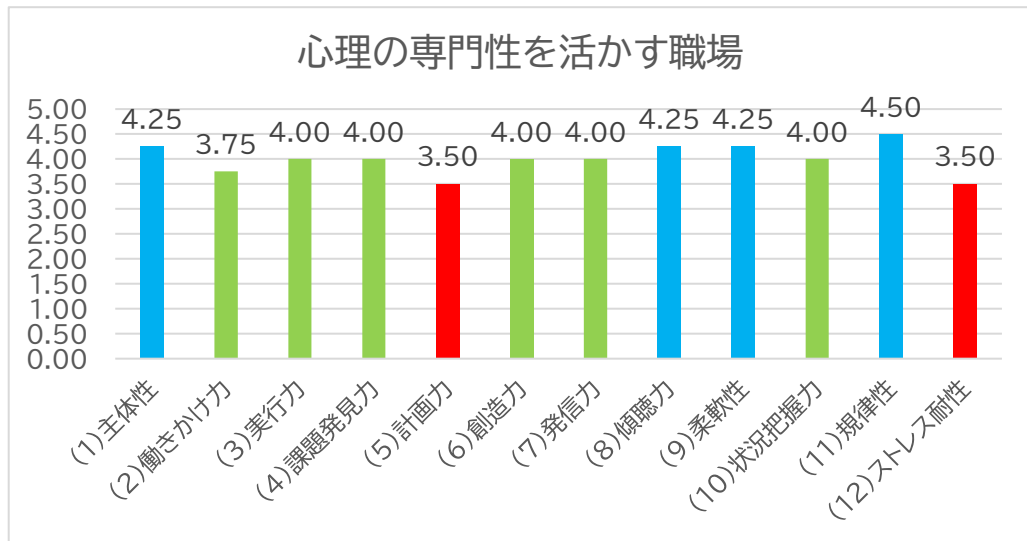


身につけるべき能力についての質問・・・心理(精神社会福祉)の専門性を活かす職場	
1	心理学、精神保健福祉の専門的考え方や理論を活かしている
2	心理学、精神保健福祉の様々な研究法や技法を活かしている
3	心理学、精神保健福祉の専門的知識を活用している
4	協働的・実戦的対応力・判断力を活用して問題解決を行おうとしている
5	多様な他者の理解及び共生する社会の形成に向け、社会の動向に関心を持ち、専門的な視点からアプローチしている
6	研究的な視点から自ら課題を分析し、課題解決をしようとしている



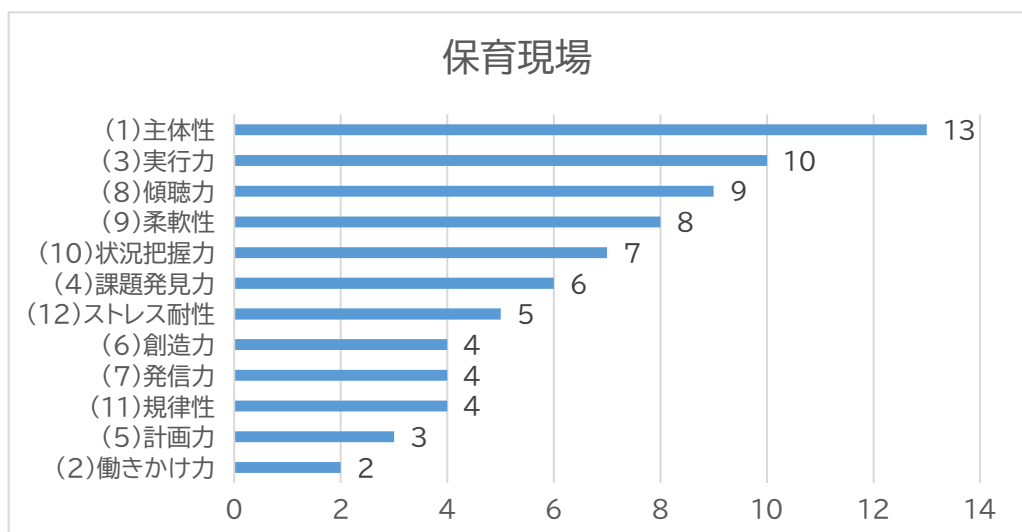
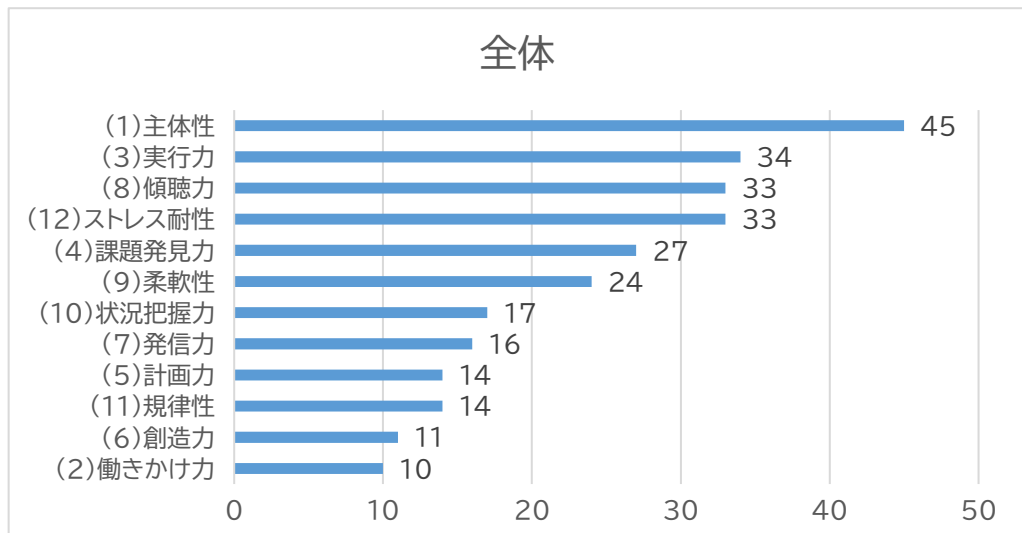
Q5.社会人基礎力をどの程度身につけているか

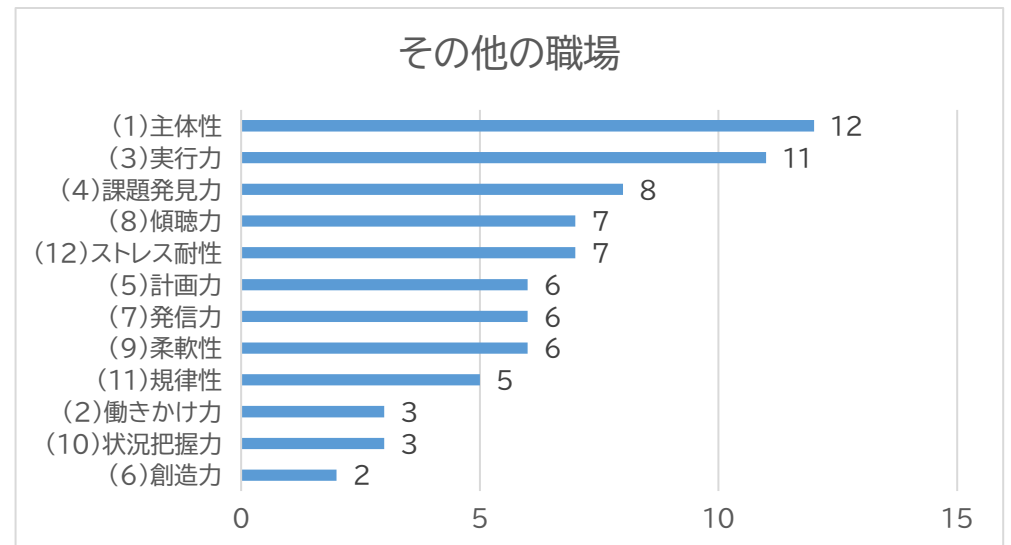
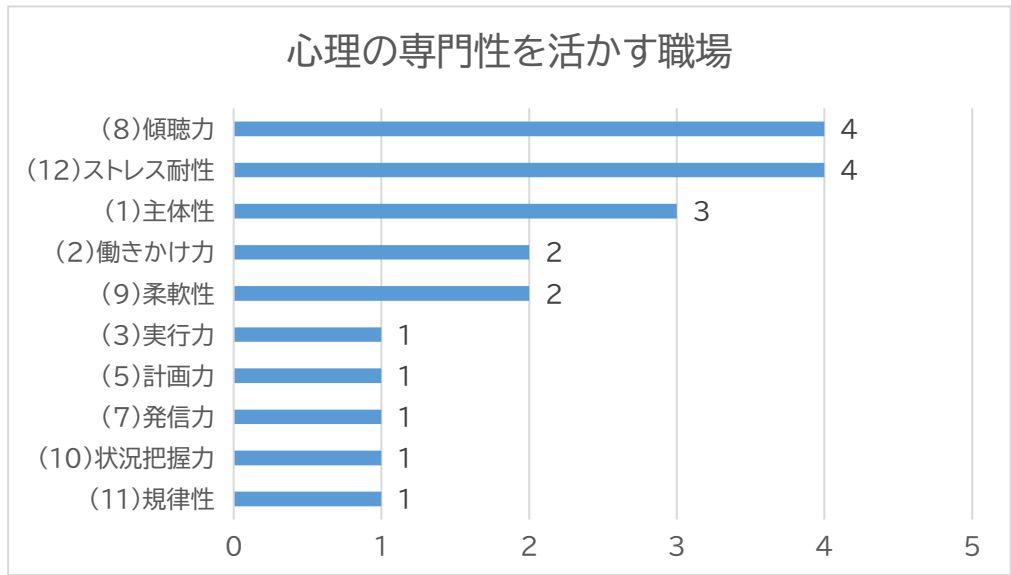
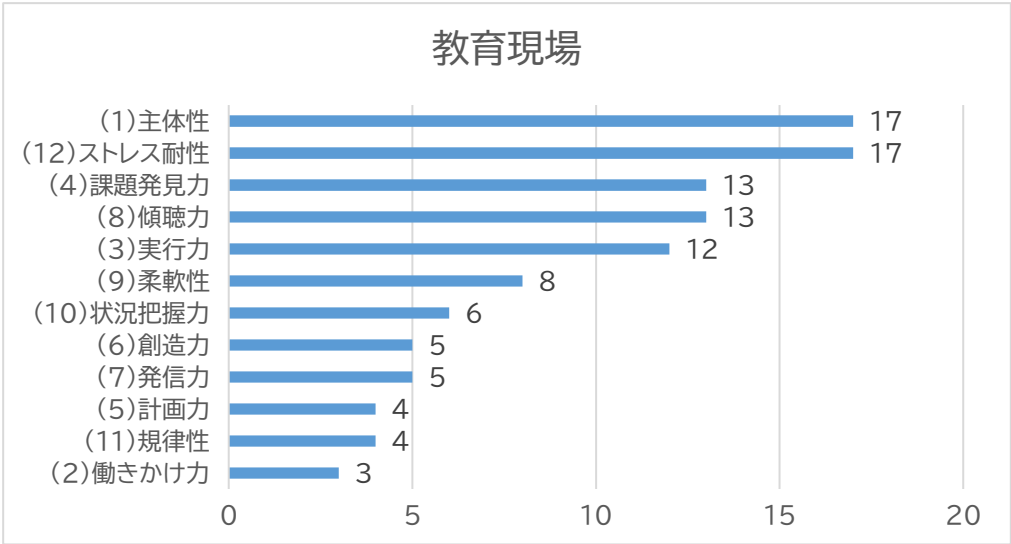




Q6.貴社・貴団体にとって必要と思われる能力・資質

(各社 5 つの能力を選択、回答数が多い順に記載)





Q7.12 の能力・資質以外に、学生時代に身につけてほしい力

(1)【保育現場】

- ・自己分析力、協調性、コミュニケーション能力
- ・時間や期限を守る等の規律性 ・周りへの目配り気配り ・整理整頓や清掃等の丁寧さ
- ・園児の個性、可能性をより引き出せるように、自身も向上心をもって自分を磨く力
- ・失敗をしたら「すみません」と素直にあやまる心、何かをしてもらったら「ありがとうございます」と言う感謝する心、一度指導を受けたら改善しようとする向上心など、今の若い世代の方々は、ひとつひとつ教えないと理解されていない方が多く見られます。基本的な掃除の仕方、草取りの仕方さえ身につけておられません。
- ・身につけた資格を活かし、少しでも長く働き、「ここが自分の職場」という思いを持って頂けたら嬉しいです。
- ・保護者とのコミュニケーションはとても大事です。コミュニケーション能力はとても大事な力だと思います。
- ・日々の業務の中で、困ったことや分からない点を遠慮せず、その都度確認をして取り組み問題解決する力を伸ばしていけると良いと思います。
- ・本園は、運営主体が社会福祉協議会であることから、地域のボランティアや高齢者、障がいのある子どもたちとの交流の機会も多く、被災地でのボランティア活動も行っています。保育だけではなく、多様性を持った視点での考え方をもち、おもいやりのある気持ちで受け入れることができる人であってほしいと思います。また、何事にも「できない」ではなく、「できるためにはどうしたらいいのか」と考えられる力、工夫できる力を身につけてほしいと思います。

(2)【教育現場】

- ・社会性・コミュニケーション能力 ・多様性を大切にし、関わる力 ・現況に満足せず学び続ける力 ・業務を遂行する能力 ・責任感 ・信念を持ち、突き進む力(柔軟性は必要)
- ・人権意識、情報収集力・分析力、ICTに関する能力
- ・子どもや保護者と主に関わる職業なので、(10)の状況把握力で理解するだけではなく、しっかりと人間として関わっていく力を身につけていって欲しいと思います。
- ・子どもや保護者に丁寧に寄り添う力、授業力、教育に対す情熱、誠実さと真面目さ
- ・自宅、学校以外での様々な社会体験、同世代以外の様々な(特に年上)世代との交流経験
- ・同じ立場や目標を持つ人同士での集まり、意見を交わし合う経験はあった方が良いのではないかと思います。
- ・あまり気負いすぎず、かといって他人任せにならないようにバランスのとれる人を望みます。また、学生として受講したりするときは受け身が中心かもしれませんが、社会人となった以上、自分からアクションを起こすことを多く求められます。大学時代自由に使える時間を通して、自分を見つめる力を高め、メタ認知できる力をつけてほしいです。大学時代の様々な経験を通して、とことん考える贅沢な時間を過ごしてほしいと思います。

(3)【心理の専門性を活かす職場】

- ・医療(特に精神科)を取り巻く環境や課題についての知識・関心
- ・学業だけでなく、部活動、ボランティア、地域活動等多方面に活躍をして欲しい。そして、ひとつでも良いので自信の持てるものを身に付けてもらいたい。
- ・専門分野の学びを大切にしながら、様々な経験をふみ、人間味あふれる人となる土台をみにつけていただきたい。また、友人関係など人とのつながりを大切に育んでいただきたい。

(4)【その他の職場】

- ・社交性 ・基礎学力 ・脱学生気分 ・自ら考え行動できる力
- ・色々な世代とのコミュニケーション力
- ・共感力と素直さ。コロナ禍で活動が制限されますが、心を動かす大学時代であってほしい
- ・「ストレス耐性」→忍耐力、「忍耐は成長を促す」という言葉にあるようにまずは「耐性」。その中でも失敗(挑戦)に対する耐性と併せてチャレンジする力。次に「体を動かす」ことを苦にしないこと。最後に「理解し考える力」、知識も必要だが、それをどう活用するか考えること。
- ・様々な部署と関わりながら仕事を行うため、いろんな考えを持った方々とコミュニケーションが必要となります。自身と異なる考え方を持つ人と相対する時の対応力を身につけていただけるとお互いにとって良いコミュニケーションができると考えています。

Q8.本学の学生のどのような点を評価して採用していただいたのか

(1)【保育現場】

- ・自立性 ・真面目 ・主体性 ・傾聴力 ・誠実そうな雰囲気 ・明朗活発で、笑顔が印象的
- ・仕事に対する意欲、コミュニケーション能力、温かな人柄
- ・真面目に取り組む姿勢
- ・面接の時に、自分の保育に対する思いを持っていて働くことへの意欲が感じられました。
面接をした上で、保育へ取り組もうとしている姿勢や人柄、質問に的確に対応する言語能力(子どもたちとの会話も対応できる)
- ・知人より、九州ルーテル学院大学の生徒さんはとても評価等がよく、是非にと思い、採用させて頂きました。保護者とのコミュニケーション等もよく、とても良い学生さんを採用させて頂いた事に感謝しております。
- ・教育実習生として迎えたとき、子どもへの接し方、声かけ等とても頑張っている様子が見られ保育に対する意欲的な態度が見られたため採用させて頂きました。
- ・保育に対する考え方などを自信を持ってはきはきと答えることができていました。また、明るくはきはきとした態度が好印象でした。
- ・実習中やアルバイト期間中の様子も頑張りやで熱心に取り組むことができていました。

(2)【教育現場】

- ・真面目さ、やる気など ・明るさ、澆刺さ
- ・真面目で素直、誠実な人間性
- ・特別支援教育の視点で教師の児童との関わり方、教育活動の実施方法など UD の視点で取り組める点
- ・教育委員会の判断のため、不明確である。(子どもや保護者への丁寧な対応や、誠実で真面目な仕事ぶりは現場で評価して教育委員会にも伝えている。)
- ・採用に直接関わってはいませんが、熊本県の求める教師像に合う方々、また、今後そうなってくれる方々だと期待されての採用だと考えています。(想像ですが)
- ・大学在籍時のさまざまな取組を評価していただけたのではないかと思います。

(3)【心理の専門性を活かす職場】

- ・本人の情意を観ています
- ・素直さ、実直さ、協調性、学生時代の取り組み、専門職として働く熱意・姿勢
- ・周囲を巻き込んで取り組む姿勢が良く、業務を任せられる

(4)【その他の職場】

- ・目標達成のために努力ができる
- ・目標に向かって着実に努力している点
- ・自分の意見をしっかり言えること、他人の話が聴けること
- ・コミュニケーション力があり、世代を問わず話しかけができる
- ・主体性、常に1番になりたいとこだわり抜く力、何事にも一生懸命、素直な点
- ・成長(進化)意欲が感じられる点。他人への喜びを自分の喜びと感じる点。
- ・自分のスタイルを持っている点。
- ・元気そうだった ・真面目そうだった
- ・人間力を評価しています。
- ・周囲の人々に対して思いやりを持ち、周りのことも考えながら行動できる方が多いと考えています。
- ・「聴く(聴ける)力」を中心に評価。聴いたことをどう活用するか、理解し考える力があるか？その過程で素直さがあるかを評価。考える力は小論文で評価、書く力があると判断するための表現力や語彙力をよく評価する。献身性も重要かも。

Q9.本学、卒業生についてどのようなイメージをお持ちなのか

(1)【保育現場】

- ・真面目、素直なイメージ
- ・伸びやかで真面目、積極的に物事に取り組む
- ・採用する前は、ルーテルの生徒さんは「はなやか」なイメージがありましたが、良い意味で裏切られ、採用しているどの方も当園のために一所懸命仕事をされています。
- ・ご本人の性格にもよるかもしれませんが、とても真面目で頑張ってくれています。まだ2年目なので、まだまだこれからだと思います。これから先どんな力を発揮してくれるかを楽しみにしています。
- ・学生を拝見しますと、大学の取り組まれている対応の力を感じます。なので、貴学生は大学の名前をお聞きしただけでも安心感？が出てしまいます。
- ・何事においても精一杯取り組む方が多いように思います。
- ・笑顔で人と接し、好感のもてる方が多いです。
- ・物事に前向きに取り組む姿勢が感じられます。現状では、まず基本的な仕事を覚えることに努力されていますが、それでいいですし、そこにフォーカスしている印象があるので、とても評価しています。
- ・何より安定して信頼できる学校だと感じています。卒業生も安心して任せられる丁寧な仕事態度と信頼できる人柄の方ばかりです。
- ・どの職場でも対応できる対応能力の高さを感じています。
- ・少し自信を持って自分の考えも入れ乍ら、保育をすすめるようになられました。大学で学んだことが即役に立つというよりも、その基礎の上に現場での学びを重ねて成長されるように願っています。お人柄の良さが何よりもよくて、同僚とも仲良く楽しく勤務されています。

(2)【教育現場】

- ・丁寧に指導が行われている
- ・真面目で、与えられた職務に真摯に取り組む。
- ・明るく、元気で、意欲的に職務に取り組んでいる
- ・真面目な学生が多いと思います。大学についてのイメージは、教師になることを前提とした丁寧な指導をしておられると感じています。
- ・実習生も含めて、真面目で、優しさを持って子どもたちと対応できる方が多いというイメージを持っている。
- ・教員になる学生を多く輩出していただきたいと思います。最近は、多くの卒業生が勤務するようになってきており、今後の活躍をさらに期待しています。
- ・特別支援教育の視点に立ち、子どもと接することができる。
- ・誠意があり、一生懸命に仕事に向かうことができている。
- ・スキルはまだまだだが、人間としての魅力がある人ばかりなので、今後の成長が楽しみな方々である。

(3)【心理の専門性を活かす職場】

- ・真面目で真摯な態度で業務に励んでいます
 - ・対人援助を行う上で基礎的な資質、知識、技能を確実に備えている。
 - ・真面目。よく学ばれている。相手のことを思いやる姿勢をもたれている。
- 少しずつ自分らしさを出していき、力を発揮していかれるイメージ

(4)【その他の職場】

非常に前向きな学生が多く欲しい人材が多い大学です
思いやりの心をもつ学生が多いイメージ
おおらかな学生生活を送っている
こだわりが強く、負けん気がある
他人に対して(外国人含む)わけ隔てなく優しく接することが出来る
一人一人を大切にされている学風だと感じております。個性的で魅力的な方たちに入社いただき感謝しております。
「良い」イメージはある。貢献・奉仕・感謝を体で表現し、「感恩奉仕」を心に留め、良き働きのできる社会人として活躍してほしいと願います。

*雇用先アンケートに対する各学科、専攻からの所感

キャリア・イングリッシュ専攻

学生たちの雇用先が一般企業に加え教育現場であるため、結果を直接本専攻の卒業生につなげることは難しい。しかし全体の結果から見て、「働きかけ力」や「課題発見力」が他の力よりも低いことや、「その他の現場」で学生時代に身につけて欲しい力として「自ら考え行動できる力」「コミュニケーション力」や「対応力」があげられていることから、今以上に少人数制を活かした、学生主体の授業を行う必要性を感じる。また熊本県内で就職する学生が多いため、せっかく身に付けた英語力を活かした仕事に就ける可能性が低い現状もあるため、県外への就職を支援する必要もあるように思う。すでに備わっている「聴く力」に加え、「発信する力」や「行動する力」を更に養えるよう専攻内で話し合いたい。

保育コース

本学で大切にしている保育の方向を、現場が前向きに受け止めてくれていることを嬉しく思う。このことは、4年間の学びを通して学生が主体的に考え、自分にマッチする就職先を選び、就職できたことの証拠でもあると考える。その活躍ぶりから見える就職先からの回答を、肯定的に受け止めたい。今後の課題は、専門職として、保育の働き甲斐を持ち、長く自分らしく自己研鑽できることである。そのためにも、迷いや困り感があるときには、大学時代の仲間や教員も大いに頼りながら成長してほしいと願う。

児童教育コース

雇用先(学校)からは、卒業生が各教科の内容や教育方法を理解して授業実践を行なっていることや、学校における様々な活動の中で適切な対応力・判断力で問題解決を行っていること等について高い評価を頂いているが、一方で柔軟性やバランス感覚、周りとの協力して良い方向性を生み出す力等がやや不足しているといった指摘も頂いている。当結果を踏まえ、多様な体験活動や人との交流の場をさらに設ける等して、学生が自分の言葉で説明できる力や論理的思考力並びに発信力を高め、様々な課題に直面した際には現状を分析してチーム・アプローチができる力の育成等にも注力していきたいと考える。

心理臨床学科

心理の専門性を生かす職場に就職した卒業生について、専門分野における基礎知識や態度、真面目さについて一定の評価を得ることができ嬉しく思う。変化やニーズへの対応や、専門的・研究的な視点からのアプローチや問題解決には課題があるものの、卒後1年での達成は難しい項目であり、今後の成長が期待される。全体的に肯定的な評価を得たが、職場において最も重要とされた「ストレス耐性」、および「計画性」の評価が相対的に低かったのは気になるところである。学生時代に身につけてほしい力として、「学業以外の様々な経験をつむこと」が複数挙げられたことを学科内で共有し、ストレス耐性が高まるよう、多様な活動への参加を促していきたい。また、卒業研究等を通じて「計画性」についてももしっかり教育していきたい。